

SPA8000のSession Initiation Protocol(SIP)タイマー値の設定

目的

Session Initiation Protocol(SIP)は、IPネットワーク上の音声およびビデオセッションを制御するために使用されます。SIPは、ビデオ会議、Voice over IP、インスタントメッセージなどを制御します。ビデオや音声コールなどのデバイスの通信セッションで使用されます。SIPタイマーを設定すると、ネットワーク環境内のデバイスの相互運用性とパフォーマンスを向上させることができます。このドキュメントでは、SPA8000でSIPタイマー値を設定する方法について説明します。

該当するデバイス

- SPA8000

[Software Version]

- 6.1.12

SIPタイマー値

ステップ1：管理者としてWeb設定ユーティリティにログインし、[Advanced] > [Voice] > [SIP]を選択します。[SIP]ページが開きます。

SIP Parameters			
Max Forward:	70	Max Redirection:	5
Max Auth:	2	SIP User Agent Name:	\$VERSION
SIP Server Name:	\$VERSION	SIP Reg User Agent Name:	
SIP Accept Language:		DTMF Relay MIME Type:	application/dtmf-relay
Hook Flash MIME Type:	application/hook-flash	Remove Last Reg:	no ▾
Use Compact Header:	no ▾	Escape Display Name:	no ▾
RFC 2543 Call Hold:	yes ▾	Mark All AVT Packets:	yes ▾
SIP TCP Port Min:	5060	SIP TCP Port Max:	5080
SIP TCP Port Min Mod2:	5160	SIP TCP Port Max Mod2:	5180
SIP TCP Port Min Mod3:	5260	SIP TCP Port Max Mod3:	5280
SIP TCP Port Min Mod4:	5360	SIP TCP Port Max Mod4:	5380
SIP Timer Values (sec)			
SIP T1:	.5	SIP T2:	4
SIP T4:	5	SIP Timer B:	32
SIP Timer F:	32	SIP Timer H:	32
SIP Timer D:	32	SIP Timer J:	32
INVITE Expires:	240	ReINVITE Expires:	30
Reg Min Expires:	1	Reg Max Expires:	7200
Reg Retry Intvl:	30	Reg Retry Long Intvl:	1200
Reg Retry Random Delay:		Reg Retry Long Random Delay:	
Reg Retry Intvl Cap:			
Response Status Code Handling			
SIT1 RSC:		SIT2 RSC:	
SIT3 RSC:		SIT4 RSC:	
Try Backup RSC:		Retry Reg RSC:	

ステップ2:[SIP T1(SIP T1)]フィールドに、クライアントとサーバ間のRTT (ラウンドトリップ時間) を推定するために、デバイスが再送信される前の最大値を入力します。範囲は0

～ 64秒です。デフォルト値は 0.5 秒です。

ステップ3:[SIP T2]フィールドに、非INVITE要求およびINVITE応答の最大再送信間隔を入力します。この値の範囲は0 ~ 64秒です。デフォルト値は 4 秒です。

ステップ4:[SIP T4(SIP T4)]フィールドに、メッセージがネットワークに残る最大期間を入力します。この値の範囲は0 ~ 64秒です。デフォルト値は 5 秒です。

ステップ5:[SIP Timer B]フィールドに、INVITEトランザクションタイムアウトタイマーを入力します。この値の範囲は0 ~ 64秒です。デフォルト値は 32 秒です。

ステップ6:[SIP Timer F]フィールドに、非INVITEトランザクションタイムアウトタイマーを入力します。この値の範囲は0 ~ 64秒です。デフォルト値は 32 秒です。

ステップ7:[SIP Timer H]フィールドに、ACK受信タイマーの待機時間を入力します。この値の範囲は0 ~ 64秒です。デフォルト値は 32 秒です。

ステップ8:[SIP Timer D (SIPタイマーD)]フィールドに、ACKのハングアラウンド時間を入力します。この値の範囲は0 ~ 64秒です。デフォルト値は 32 秒です。

ステップ9:[SIP Timer J]フィールドに、非INVITE要求の再送信の待機時間を入力します。この値の範囲は0 ~ 64秒です。デフォルト値は32秒です。

ステップ10:[INVITE Expires]フィールドに、INVITEがExpireヘッダー値を要求するまでの時間を入力します。このフィールドに0を入力すると、期限切れヘッダーは要求に含まれません。デフォルト値は 240 です。

ステップ11:[ReINVITE Expires]フィールドに、ReINVITEがExpireヘッダー値を要求するまでの時間を入力します。このフィールドに0を入力すると、期限切れヘッダーは要求に含まれません。デフォルト値は 240 です。

ステップ12:[Reg Min Expires]フィールドに、登録の最小有効期限を入力します。[Min-Expires]ヘッダーフィールドには、レジストラによって保存される連絡先ヘッダーまたはExpiresヘッダーフィールドでサポートされる最小リフレッシュ間隔が示されます。デフォルト値は 1 秒です。

ステップ13:[Reg Max Expires]フィールドに、最大登録有効期限を入力します。[Max-Expires]ヘッダーフィールドには、レジストラによって保存される連絡先ヘッダーまたは期限切れヘッダーフィールドでサポートされる最大リフレッシュ間隔が示されます。デフォルト値は 7200 秒です。

ステップ14:[Reg Retry Interval]フィールドに、アダプタが最後の登録エラーの後に登録を再試行するまでの間隔 (秒単位) を入力します。デフォルト値は 30 秒です。

ステップ15:[Reg Retry Long Intvl]フィールドに、[Reg Retry Intvl]よりも大きな値を入力します。SIP応答コードが一致しないために登録が失敗した場合、デバイスは指定された時間だけ待機してから再試行します。デフォルト値は 1200 秒です。

ステップ16:[Reg Retry Random Delay]フィールドに、障害が発生した後にREGISTERを再試行したときにRegister Retry Intvlに追加する数値をランダムに選択する遅延範囲 (秒) を入力します。デフォルト値は0です。これは、この機能が無効であることを意味します。

ステップ17:[Reg Retry Long Random Delay]フィールドに、障害が発生した後にREGISTERを再試行したときに、Register Retry Long Intervalにランダムに追加する数値の範囲 (秒単位) を入力します。デフォルト値は0です。これは、この機能が無効であることを

を意味します。

ステップ18:[Reg Retry Intvl Cap]フィールドに、入力した値をレジスタ再試行ランダム遅延に追加する[Register Retry Interval Cap]を有効にする場合を除き、0を入力します。

ステップ19:[Submit All Changes]をクリックして、設定を保存します。